

高齢者の自立に向けて取り組んだこと



北部東地域包括支援センター



①卒業したケースの取り組みについて

若手職員の熱意と周囲の支えによって卒業後の生活の充実を図ったケースの紹介

②住民主体の通いの場の創設に向けての取り組みについて

大和地区（西沱上自治会）



①【ケース概要】

男性 69歳 市営住宅で独居 無職
電話なし 身寄りなし 近隣と疎遠

パチンコ



借金



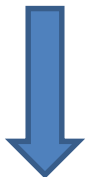
孤立



ゴミ屋敷



大腿骨骨折、脳梗塞の発症で要介護4に ～退院後の生活～



支援チームの介入

- ・ゴミ屋敷の片付け
- ・介護サービス、配達弁当
- ・リハビリ
- ・金銭管理



約2年で「**非該当**」
宅配弁当、日常生活自立支援事業で見守り

⇒ **生活乱れ、歩行不安定に**

⇒ 包括へ相談、介護申請、サービス利用へ

要支援1～サービス利用と自立への道～

自立ってなんだろう？

定期的に受診
してほしい…

引きこもりはよ
くない…

バランスのいい
食事は大事だ

お金の管理を
するには…

掃除はでき
ないかな…

転びそうな足
取りだ…



地域生活応援会議→サービス利用へ



歩行状態の改善
デイサービス



ゴミ屋敷防止
えぷろんサービス



お金の管理
日常生活自立支援事業

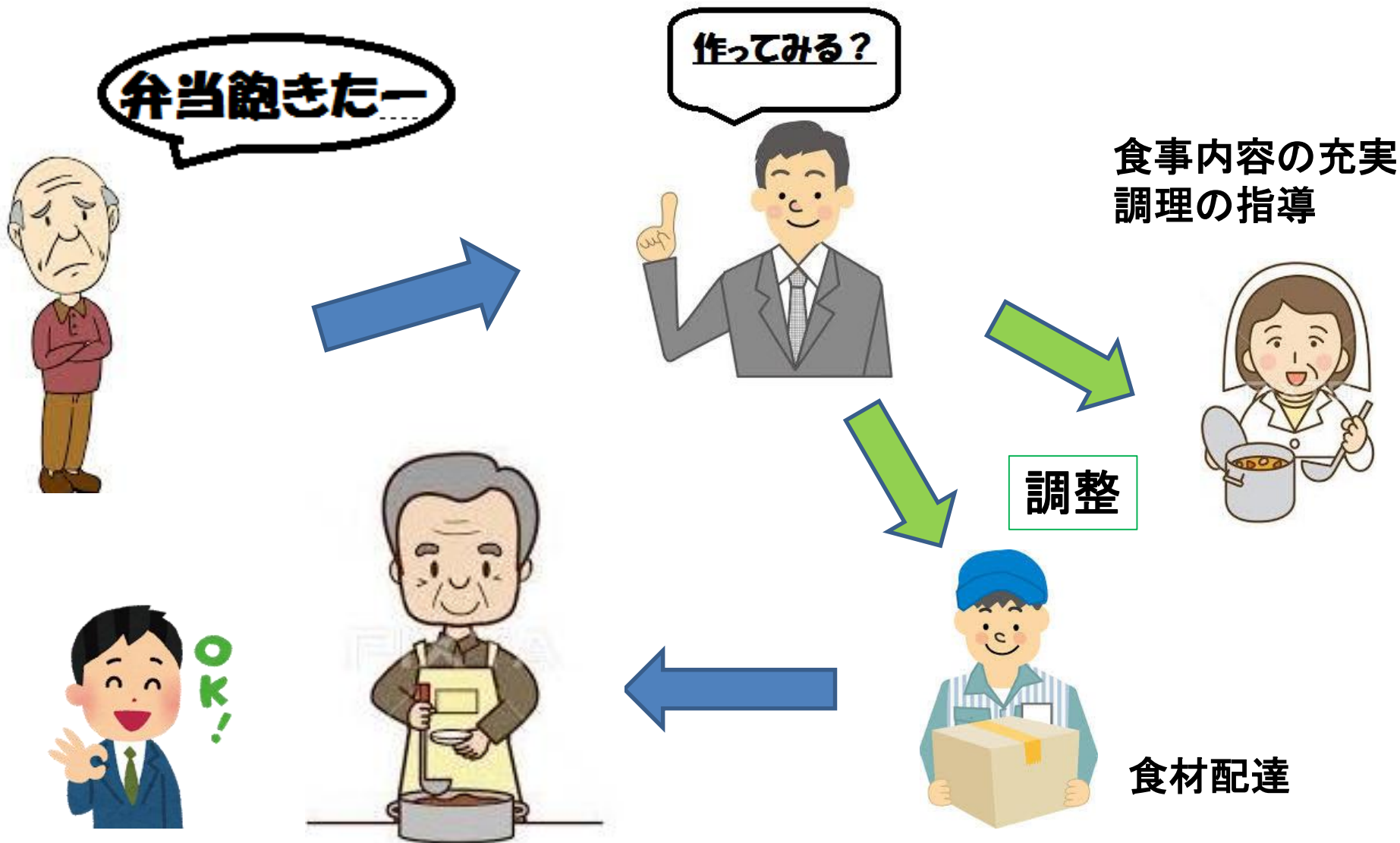


食事の確保
宅配弁当



自立支援プラン作成
包括支援センター

やりたい気持ちを**できる**に変える



～卒業後の問題～

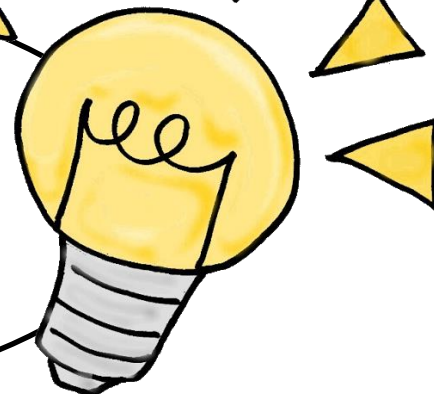
地域との付き合いはない。
足腰が弱ったし、
老人センターまで行くのは
めんどくさい。



でも...

デイ利用者とは顔なじみ
オセロは好き

オセロの楽しみを
活かしてはどうか?!



～ボランティア活動へ向けて～



社協内連携調整会議



- ・オセロの相手がいないと困っている
- ・本人も一般利用は嫌だけどオセロの相手として来てもいいと言っている
- ・ボランティアとして来てもらいたい

⇒ 「ボランティアの送迎しているよ」

「介護支援ボランティア」として活動してはどうか(動機の強化)



やりたいことを**できる**に変える！

地域と繋がり交流することも**自立**に含まれるんだ！



～ 自立へ、広がる支援の輪～



スーパー



福祉センター



デイ利用者



権利擁護



包括



民生委員

デイ



病院・薬局



**シルバー
人材**



②西汰上「通いの場」創設への関わり

平成27年6月

大和地区の民生委員さんから「やってほしい」との話がある。
「住職には話をしているので、自治会長と一度話に行ってほしい」



平成27年7月

了厳寺にて相談。

「講の参加者に意向をきいたらどう？」

「宗派があるので神明神社のほうがいいのか」

→講に参加。「行きたい」と希望多数。

→8月末に第1～3自治会長が集まりこの件について相談して頂けることに



平成27年9月

「もうすぐ自治会長の任期が終わる。」

「来年の代表へ相談してほしい。」

→ **一度話をしませんか！！**



平成27年10月

第1～第3自治会長、民生委員、包括、地域支援コーディネーターで検討

- ・大和地区の現状について
- ・市内各地の通いの場の取り組み等について紹介

「やったほうがいいよね」

「誰が中心だといいかな」

「周知は自治会回覧で全戸配布がいいね」

「誘ったら25～30人になるんじゃない？」

「竹の子終わった5月からはどう？」

どんどん話が進む。
地域の力を感じて感動。



平成28年1月

「やることで話まとまったよ。改めて趣旨説明してほしいから役員会に来て」

行きますとも！！





ご清聴ありがとうございました

北部東地域包括支援センター

